

1 障がい者施策の充実を

(1) 障がい者雇用について

- ① 障害者雇用促進法に基づく障がい者雇用制度で、国の多くの中央官庁が障がい者雇用率を「水増し」した問題は、障がい者の働く権利を侵害していた重大問題である。地方自治体でも同様の「水増し」が相次いで発覚し、真相究明と再発防止を求める声がある。障がい者雇用率「水増し」問題に対する見解を伺う。
- ② 磐田市の障がい者雇用は18人、雇用率2.53%と公表されている。雇用率の算定方式を示されたい。また、新聞報道では、ガイドラインに基づく障がい者手帳の確認を行わずに一部職員を障がい者として雇用数に算入していたとされている。後日、障がい者手帳は確認し、改善策も示されたが、どこに問題があったのか原因について具体的に示されたい。過去において雇用率の算定方法は適正だったか。また、障がい者枠の雇用の募集、選考方法、この間の応募状況、仕事の内容給与体系について伺う。
- ③ 磐田市一般職員の採用試験に障がい者が受験できる採用方法をとっているか。また、点字・音声試験を位置づけるべきと考えるがどうか。
- ④ 市内民間企業における障がい者雇用率の現状と法定雇用率を達成するための支援策について伺う。

(2) 磐田市第3期「障害者計画」では、障がいのある人の就労の場の促進を図っていくための施策を展開するとある。この間の実績(身体、知的、精神、発達)と課題、体制はどのように図られているか。

また、事業所側と定期的に意見交換する場が必要ではないか。

- (3) 2016年から施行されている障害者差別解消法に基づく市の取り組み状況と今後の課題について伺う。
- (4) 2012年の障害者虐待防止法の施行後、年々虐待件数が増えていると報道されている。磐田市内の実態はどうか。専門知識を持つ職員の配置、緊急対応ができる保護施設の確保はされているか。

2 酷暑から命を守る緊急対策について

(1) 市民生活、小中学校への影響について

- ① 気象庁はこの夏、猛暑・酷暑が続く予報を明らかにし、「命に危険が及ぶレベルで災害と認識している」と述べている。全国で熱中症が多く発生し、救急搬送されている人が続出している。高齢者や子どもが亡くなる痛ましい事態も起きている。

市内において熱中症で救急搬送された人数は。また、災害といわれる猛暑、酷暑の中での市民生活の影響をどう把握しているか。

- ② 市の業務や小中学校における学校行事を含めた暑さ対策はどのように点検、見直してきたか。

(2) 生活保護利用者や低所得などへの緊急対策について

- ① 厚労省は6月27日に、今年度から新たに生活保護利用を開始した世帯を対象に、一定条件を満たす場合にはエアコン購入費などの支給を認める通知をだした。しかし、前年度3月までに生活保護利用開始の世帯を対象外としている。2018年3月までの生活保護世帯も厚労省の通知が適用できるよう、国に対して緊急の要望をすべきではないか。

- ② 熱中症対策でエアコンの使用を呼びかけても生活保護世帯では電気料金が心配で使用できない生活実態がある。安心して使用できるよう冬季加算と同様の考え方のもとに、夏季加算を国に求めるべきではないか。市として独自の補助を行う考えはないか。

- ③ 酷暑による熱中症対策として、高齢者世帯や障がい者、要介護者、乳幼児のいる世帯に対し、エアコンをはじめて購入する場合の助成制度を策定すべきではないか。

3 磐田市の諸課題について

- (1) 中遠広域次期一般廃棄物最終処分場については、平成25年度から候補地選定を行い、平成28年度から地元自治会と協議を続けているとのことである。地元から受け入れについての承諾が得られたら、平成35年1月の供用開始に向けて、環境影響調査や地権者交渉などに取りかかる予定とされていた。この間の経過と課題、今後のスケジュールを具体的に明らかにされたい。
- (2) 小中一体校の次期整備計画は向陽学区となっている。自治会などを中心に説明会も開かれている。この中で、建設場所を現向陽中学校に想定している。想定した理由と建設にあたっての基準は何か。また、地域づくりは長年小学校区単位で行われてきており、歴史的役割も大きい。小学校がなくなることにより市が進めている地域づくりや防災対策などに逆行するのではないか。見解を。
- (3) 再生可能エネルギーの推進は重要な課題である。一方で大規模太陽光発電所による森林伐採、災害の危険などが全国的に問題となっている。磐田市の現状をどう把握しているか。また、国、県の設置についての新たな基準作りはどこまで進められているか。磐田市の今後の対応について伺う。
- (4) 先の通常国会では、水道運営への営利企業の参入を促す水道法改定案が審議入りし、わずか2日間の委員会審議で衆議院を通過した。水道民営化の問題もある。見解を示されたい。